

委員からの意見概要

(資料1～4の検証部分について)

- ・地域内消費の指標が伸びたことは大きいですが、あくまで意識調査によるものなので、RESAS等を活用して実際の消費行動も検証してほしい。
- ・観光消費単価(日帰り客)が伸びているが、内訳を分析することで、伸びている分野に力を入れられるのではないかと。
- ・高卒新卒者支援の就職率については年度によってバラつきがあることから、短期的な数値に一喜一憂せず継続的な高校生への意識付けをしてほしい。
- ・未達指標の中には目標を意欲的に高く設定しすぎただけで、実際は十分成果が挙がっているものもあると考えられる。第2期は途中で指標を都度見直していったらどうか。
- ・事業承継は各事業機関でも実施しており、全体を捉えたら氷見市内ではかなり数字は上がっている。金融機関の数字も検証に活用してもらえれば。
- ・婚姻数が1期の期間中にやや増加したにもかかわらず、出生数が大幅に減少したことはショック。原因を分析し、2期では出生数を維持するのではなく、増やしていくために政策を行ってほしい。
- ・出生数の減少は晩婚化による子供のできにくさが影響しているのではないかと実感しているため、不妊治療の充実が効果的かもしれない。
- ・新型コロナウイルスの影響で、観光分野の産業は非常に苦しんでおり、2期で掲げた目標は到底達成できない状況。リモートワークや通販の活発化といったこれからの傾向を踏まえて、2期の目標は時代に合わせたものに変更していく必要があるのでは。
- ・基本目標、基本目標で掲げていた指標については、若者が働きたい企業、いわゆる企業誘致が一番大事になってくるのではないかと。働く場所があれば状況はかなり変わってくるはず。
- ・氷見市全体では空き家の全体の約1割程度しか空き家情報バンクに登録できていない。自治会も行政、地域協力隊とも協力しながら少しでも登録を促し、人口増加につなげていきたい。